

# より安全に

6月は、全国安全週間の準備月間となります。安全は同じことを根気よく繰り返すことで職場に根付くものです。

準備月間中は危険察知の感度を上げて、不安全個所や不安全行動を発見しましょう。そして、小さなことでもおろそかにせず、危険の芽を摘み取りましょう。

残念なことに採石業では5月に愛知県で落石による死亡災害が発生しました。

他山の石としてより一層の安全作業に取り組みましょう。



## ～コロナ禍での家での過ごし方～

全国で唯一感染者がいないとされる岩手県でも、今月に入りやっと越県が認められ少しずつ近県への外出も許される雰囲気になってきた。4月～5月中、家に居なければならぬと固く心に決め、ゴルフも我慢、カーリングも我慢でとにかく家に居た。最初は心もややもやし、ちょっとイライラもしたが腹を決め、むしろこの機会に出来ることをやろうと思った。

まずは断捨離、ゴールデンウィーク中に軽トラックにあれもこれも満載にして二戸市のごみ焼却場に持ち込んだ。皆さん考えることが同じで、焼却場に続く道が長蛇の列になっていた。本当にあれもこれもで申し訳ない気持ちだったが、全部引き取ってもらえてありがたかった。

そして次に始めたのは自転車に乗ること。あまりの運動不足に自転車を引っ張り出し、乗り始めたらとにかく楽しい！週末は20km位走るようにしている。ちょっときついのだが老体に鞭打ってヒルクライムに挑戦している。なぜわざわざ坂道と思うだろうが、ハーハー言いながら登り切った時の達成感が何とも言えず楽しい。またアプリで走ったコースや、距離、時間、スピード、標高の高低、心拍数、消費カロリーなど走った後に見るのがまた楽しい。ということでコロナ禍のおかげで新しいことが始められ、不幸中の幸いであった。

(ちょっと苦し紛れ)



(写真は2016年ツールド三陸)

## 安でsite

～五里霧中～



整理	登頓
フクタ安全5S日	
清掃	清潔
整頓	整頓

今月の我社の安全5S日は、碎石場に面する県道の清掃を行いました。日頃散水作業を行っていますが、それでも道路の隅っこには土が溜まって

しまいます。日頃の感謝の気持ちを込めて清掃いたしました。終わる直前に大雨が降り、うまい具合に最後の仕上げを雨がしてくれました。午後からは各部署ごとの5S活動を行い、有意義な一日となりました。



### 日記

僕たちは道具を使わない。食事は歯と舌で十分こなせるし、散歩は自分の足で歩ける範囲を縄張りとしているので、それ以上遠くへ行く必要がない。ましてや魚を焼こうとか空を飛ばうとか考えたこともない。身体機能が猫なみであれば幸せな毎日である。しかるに僕が勤務している福田運送の運転手という人たちは、毎日象ほどもあるトラックを操り、朝来たと思えばどこかに行ってしまう。なにやらこのトラックを操るために訓練と免許が必要らしい。さらに道路を往来するために様々なルールを守らなければならないとのこと。ご苦労なことである。先日ルールの監視役から福田運送の2名の運転手が、40年以上ルール違反がないと知らせがあった。40年といえば猫の世界では、ひい爺さんの時代。人間ならば明治時代である。想像もつかないがそれほどの間、ルールを守り続けるとは大したものだ。道具を上手に使うには、知識と経験の熟練と素直な心が必要らしい。時間を縮め、世界を広げるトラックという道具は世の中の役に立っているようだ。

今月の一言 「継続は力なり」

御辺地地区は、周囲を標高250mほどの山に囲まれた盆地である。その盆地の中を安比川がくねくねと蛇行しながら流れている。上流側は青海橋付近で狭く、下流側は似鳥トンネル付近で狭くて盆地は袋小路になっている。一帯は140mから170mが平地で、地上から50m付近までが霧が覆われる。特に春と秋には霧が発生しやすく、筆者は秘かに「霧の郷御辺地」と名付けて悦に入っている。

5月のある日、当社の採取場235m付近に上ってみると青海橋の狭隘部を越えて霧が流れ込んでいた。雲でも霧でも普段下から見上げているものを上から見るとは気分がいい。霧の中に入れば五里霧中でよく分からないことも外から見るとこんなものかと思ってしまう。コロナ感染防止のため、今までのありふれた日常が、先の見えない混沌とした閉塞感に包まれている。

見えない中にいるとわからないが、本当はもっと大きな日常がすぐ隣にあるのかもしれない。霧はほどなく消えて快晴となった。

御辺地盆地霧発生マップ

